



特定非営利活動法人 マドレボニータ  
 東京都杉並区高井戸西2-12-23-301  
 プロジェクト担当:高橋  
 wms@madrebonita.com



# 産後女性に向けた新しい社会復帰支援を提言 2010.3.8 『NECワーキングマザーサミット』開催

出産後の女性に特化したヘルスケアプログラムの研究・開発・普及を行うNPO法人マドレボニータ(東京都杉並区・代表吉岡マコ)は、NEC(東京都港区・本社)との協働で、『NECワーキングマザーサミット』を行うことになった。日時は2010年3月8日(月)13:00~16:00、会場は品川区大井町のきゅりあん小ホール。(概要は2枚目に記載)

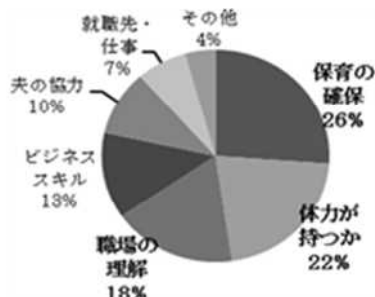
マドレボニータとNECは、2007年より産後女性の社会復帰を支援する『NECワーキングマザーサロン』(以下、サロン)を協働で実施しており、NPOと企業の協働による今までにない社会復帰支援として注目を集めてきた。今年度は、ボランティアで参画する19名のファシリテーター(マドレボニータ会員)が、サロンの進行や運営を担うスタイルで、全国各地にて約100回開催し、参加者は500名を超える。

出産し母となった女性にとって、いまだに社会復帰の“壁”は大きい。しかし、どんなに制度が整い、職場の支援が整っても、本人の“子育てしながら働く”ことへの準備や心構えができていなければ、その効果は得られない。

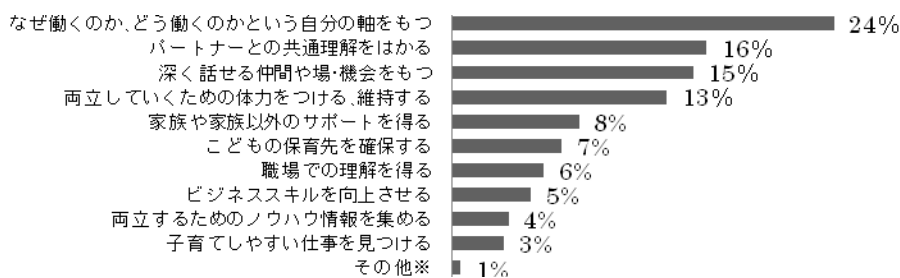
そこで、サロンでは、自分自身の課題に気づくこと、その課題を解決するために必要なコミュニケーションスキルの向上、ともに課題解決にとりむ仲間とのディスカッション、という3つを軸にしたオリジナルプログラムを実施。

サロン参加者を対象に行ったアンケート調査では、社会復帰の不安要因を問う質問(選択回答)に対して、「保育の確保」「両立を支える体力」「職場の理解」が上位を占める一方で、「今の自分に必要なことは何か」という質問(選択回答)に対しては「なぜ働くか、どう働くかという自分の軸を持つこと」という回答が最も多い(グラフ参照)。サロンに参加したことにより、課題解決を外部に求めるのではなく、自己解決を図っていくことの必要性に、気づいたことがわかる。

グラフ1「社会復帰に対する不安」



グラフ2「今の自分に必要なこと」



今回開催する『NECワーキングマザーサミット』では、半年間に及ぶサロン開催と、アンケートに寄せられたリアルな声から得られた、ワーキングマザーにとって本当に大切なこと、また本当に必要な社会復帰支援のあり方について提言していく。また、実際のサロンで行われたコミュニケーション・ワークを会場参加者全員で体験。<はたらくこと>をテーマに自ら

を振り返り、自由に語り合い高めあえるサロンの仕掛けを体感することができる。さらにファシリテーター自身が「子育てしながら働くこと、生きること」を語るコーナーも企画。同じ母となって働く・働きたい女性として、<はたらくこと>を正面から捉えているひとりとして、サロンを開催することを通じて自己の課題と向き合い、仲間と思いを分かち合う過程で生じた、自らのエンパワメントについて語る。

なお、ゲストコメンテーターにはNPO法人ファザーリング・ジャパンの安藤哲也氏を迎え、「妻の社会復帰」について、男性視点からも切り込んでいく。

なお、当日は、インターネットライブ中継も行い、国内外からも視聴ができる。(協力:NPO法人STAND)

<http://www.i-project.jp/nec-stand/wms/>

---

## 開催概要

### NECワーキングマザーサミット

「はたらく」を語ろう。～母となった私たちの 人生・仕事・パートナーシップ

[http://www.madrebbonita.com/wordpress/?page\\_id=3936](http://www.madrebbonita.com/wordpress/?page_id=3936)

日 時:平成22年3月8日(月)13:00～16:00

会 場:きゅりあん・小ホール(品川区東大井5-18-1)(交通)JR線・東急線・りんかい線「大井町駅」徒歩1分

内 容:

『NECワーキングマザーサロン』報告

半年間に及ぶサロンの活動報告、アンケート調査から得られた、ワーキングマザーにとって本当に大切なこと、また本当に必要な社会復帰支援のあり方について提言する。

私たちの「人生」「仕事」「パートナーシップ」を語ろう。

サロンで行うコミュニケーション・ワークを会場参加者全員で体験する。

<はたらくこと>をテーマに自らを振り返り、自由に語り合い高めあえるサロンの仕掛けを体感することができる。

サロン・ファシリテーターが語る「子育てしながら働くこと、生きること」

母となって働く・働きたい女性として、<はたらくこと>を正面から捉えているひとりとして、サロンを開催することを通じて自己の課題と向き合い、仲間と思いを分かち合う過程で生じた、自らのエンパワメントについて語る。

\*インターネットライブ中継を実施 <http://www.i-project.jp/nec-stand/wms/>

出 演:安藤哲也(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事)、磯野美子(NEC CSR推進部社会貢献室)

NECワーキングマザーサロンファシリテーター、吉岡マコ(NPO法人マドレボニータ代表)

参加費:無料(ただし資料代として500円)

定 員:200名(生後90日以内の赤ちゃんは同伴可能)

申 込:マドレボニータ HP より <http://www.madrebbonita.com>

問 合:NECワーキングマザーサロン事務局 [wms@madrebbonita.com](mailto:wms@madrebbonita.com) (担当:高橋)

主 催:NPO法人マドレボニータ

協 賛:NEC CSR推進部 社会貢献室

協 力:NPO法人STAND

---

## NPO法人マドレボニータとは

マドレボニータとは、スペイン語で“美しい母”の意味。“美しい母がふえれば、世界はもっとよくなる”をキャッチフレーズに、日本初の産後ヘルスケアプログラムを開発、普及活動を行っている。2007年よりNECと協働で、子育てしながら働く女性のクオリティ・オブ・ライフの向上を目指すプログラム「NECワーキングマザーサロン」を全国展開。『産後白書』の発行など、調査研究活動にも力を注いでいる。